

医療法人社団 銀緑会
みどり野リハビリテーション病院 広報誌

Midorino
Rehabilitation
Hospital



いろどりみどり

vol.
37

ご自由にお持ち下さい。



写真:まつだ桜祭り 撮影:丸谷副院長

CONTENTS

2P… 2024年度 入職式

4P… 感染管理認定看護師の紹介

6P… 防災訓練を実施!!

7P… マルちゃんの独り言②

3P… 病院機能評価認定獲得!

5P… 簡単にできるバランスストレッチ

6P… むすびプロジェクト



医療法人社団 銀緑会

みどり野リハビリテーション病院

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間2丁目6-17

<https://midorino-hp.jp>



2024年度 入職式

4月1日、2024年度みどり野リハビリテーション病院入職式を執り行いました。

今年度は理学療法士13名、作業療法士6名、看護師2名、看護助手2名の合計23名が新たにみどり野リハビリテーション病院の一員になりました。

入職式では大山院長からの温かい歓迎の言葉に続き、辞令交付を行い新入職員代表が共に働ける喜びを語りました。

新たな仲間を迎え、改めてスタッフ一同で力を合わせ、患者様や地域の皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので宜しくお願いいたします。



みどり野リハビリテーション病院 病院機能評価での認定を獲得

この度、私たち医療法人社団銀緑会みどり野リハビリテーション病院は、当院は、2024年2月9日付で公益財団法人 日本医療機能評価機構による「病院機能評価(3rdG:ver.3.0)」の認定を取得しました。

この認定は、私たちの医療サービスと管理が、国が定める高い基準を満たしていることを証明するものです。

病院機能評価とは？

病院機能評価は、厚生労働省が定める基準に基づいて病院が提供する医療サービスの質と安全性を国の基準で評価し、認定する制度です。

病院の治療品質、患者安全、組織運営、地域社会との連携など、幅広い基準に基づいて評価が行われます。

患者様への病院機能評価認定のメリットは？

安心と信頼: 認定マークは、私たちの医療サービスの高い品質と安全性を象徴しています。患者様にとっては、信頼できる医療機関で治療を受けられることが保証されます。

質の高い医療サービス: 認定を受けた病院では、適切な治療プロセスが提供されます。患者様は高品質な医療を受けることが期待できます。

患者安全の確保: 患者様の安全を第一に考え、感染予防対策や薬の適切な管理など、安心して治療を受けるための体制を整えています。

情報公開と透明性: 認定取得には様々な基準をクリアする必要があります。私たちはその過程での情報公開と透明性を重視し、患者様に対して誠実に対応しています。

持続的な改善: 認定取得後も私たちは質の向上に努めています。患者様からのフィードバックを活用し、より良い医療サービスを提供するための取り組みを継続しています。



このたびの認定は、すべての職員が一丸となって取り組んだ結果であり、患者様にとっても、安心して治療を受けられる病院としての第三者による保障が得られた事になります。

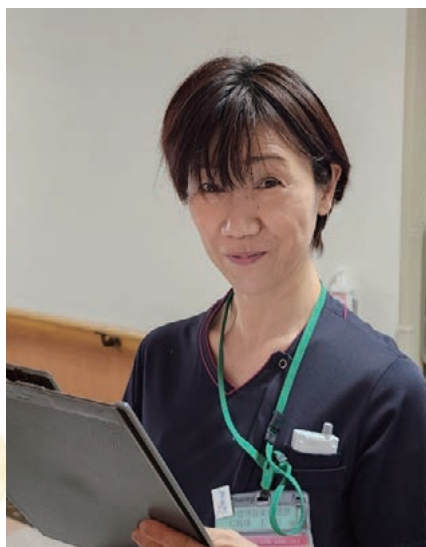
みどり野リハビリテーション病院は、この認定を一つの通過点と捉え、医療サービスのさらなる向上に向けて努力を続けます。

患者様、ご家族、地域社会の皆様を支えられながら、私たちはこれからも、安全で質の高い医療を提供することをお約束します。

今後とも、みどり野リハビリテーション病院をご支援くださいますようお願い申し上げます。

専門性と温かさ、認定看護師の ケアがあなたを支えます

みなさん、こんにちは!私たちの医療スタッフには、特別なプロがいます。
それが、「認定看護師」です。彼らは医療のフロントラインで、専門的な知識とスキル
を持つ看護のエキスパートです。当院の認定看護師をご紹介します。



感染管理認定看護師
佐藤 広恵

このたび、感染管理認定看護師として 活動することになりました、佐藤広恵です。

回復期リハビリテーション病院には、高齢者や
様々な疾患を抱えた患者さんが入院されていま
す。このような方が感染症を発症すると、重症化す
るリスクが高いと考えられます。病院では、日常生
活の援助やリハビリテーションなどを通して患者
さんの身体に直接接触する機会が多いため、職員
の感染対策が重要となります。そのため、効果的
な感染対策の実践と継続に向けて、多職種で日々
活動をしています。感染対策を行う上では、職員
だけでなく、患者さん・ご家族の方など、病院に関
わる全ての方のご協力が必要となります。皆さん
のご意見や気づきをいただきながら、組織全体の
感染対策の質向上に努めていきたいと考えていま
す。

感染管理認定看護師の役割は、専門的知識と技
術を基に、施設の状況に応じた効果的な感染管理
プログラムを構築し、病院に関わる全ての人を感
染症から守ることにあります。感染管理認定看護
師として、最新の科学的根拠に基づいた感染対策
を実践し、患者さんが安全にリハビリ医療を受け
られる環境を提供していきます。

皆さまご協力よろしくお願ひいたします。

簡単にできるバランスストレッチ



①片足立ち

①片足立ち

片足立ちが、14秒以下になるとバランス能力が低下し、転倒のリスクが高くなると言われています。

両足よりも片足立ちでは更に支持基底面が狭くなり、バランスを保つことが難しくなります。

最初から片足立ちを行うことは難しいため、バランスが不安定な方は、壁や椅子などに手を添えて安全に行うことをお勧めします。

両手把持➡片手把持(挙げた脚と反対側)➡片手把持(挙げた脚と同じ側)と手の把持する位置によって難易度を調整することができます。

②継足歩き

タンデム歩行と呼ばれる運動です。

床にラインを引くなど目印を付けて行います。運動の際は、踵とつま先を付けて歩くように意識します。バランスが不安定な方は、少し歩幅を広げ、踵とつま先に少し隙間を空けて実施することでトレーニングの難易度を調整できます。



②継足歩き

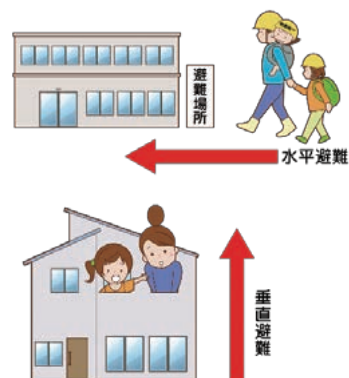


理学療法士 菅原 達也

防災訓練を実施しました！！

防災訓練を実施し、水平避難の重要性を確認しました。
訓練では、スムーズな避難と迅速な対応が可能となり、
災害時の安全確保に向けた取り組みを強化しました。

今後も定期的な訓練を通じて、患者様や地域の安全を
守るための取り組みを継続してまいります。



※水平避難とは、災害時に建物内で安全なエリアへの移動を促す避難方法です。

むすびプロジェクト



「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
退院後もその人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

第2回 むすびプロジェクト研修会 ～地域の事業所との連携～

令和5年11月27日に関東カマチグループ17病院の職員を対象にむすびプロジェクト研修会を開催しました。第2回目となった今回は、蒲田リハビリテーション病院を退院された患者様と退院後の支援に関わられた介護支援専門員・自立訓練事業所の理学療法士・訪問リハビリの作業療法士、地域の支援事業所スタッフ5名をお招きし、シンポジウム形式で開催しました。脳卒中を発症後に新規就労を目指している事例を通して、回復期リハビリテーション病院、地域の支援事業所との連携についての経緯や支援内容と今後の支援について、ご講義をいただきました。総勢350名程のグループ病院の職員が現地・Zoomにて集い退院後の地域の支援事業所との連携の大切さに関する知識を深めました。患者様の声を直接聞いたこともとても貴重な機会となりました。今後も患者様へのサービスの質の向上につながるよう研修会を企画していきます。



▲現地・ZOOMを合わせて約350名が参加しました。

マルちゃんの独り言



最近、思うこと

先日、私の勤務先の病院から、別の病院に出す封書の宛先を、見かけてチョット気になることが書いてありました。それには、画像にあるような文字が、記載されていました。

整形外科
御担当医 先生 御侍史

〇〇病院 整形外科 御担当医

〇〇先生

『〇〇病院整形外科 御担当医先生 御侍史』

これを見ると、敬称のオンパレードという感が、拭えません。

医師が手紙を書くとき、相手の先生の宛名を「〇〇先生御侍史」「〇〇先生御机下」と書くことがあります。これは、医療業界にだけ残っている独特の文化なんだそうです。

「なんか尊敬してる感じがする!」といって、普通の手紙で使わないように気をつけましょう。通常は「〇〇様」で十分です。

「御侍史」も書くことがあります。秘書やお付きの人のことです。「先生に直接手紙を出すのは失礼なので、お付きの人が開けてくださいね」という意味がこめられています。

「御机下」は、「直接渡すのは恐れ多いので、机の下に置いておきますね」という意味です。

どちらも「お医者様・エライ人」という風潮が行きすぎってしまった感じが、病院という場所の独特な空気を物語っているようです。

また、役職名は、苗名に付いたときに敬称になるのであり、役職名单独で用いた場合は敬称ではありません。

×：〇〇支店 山田部長様
◎：〇〇支店 営業部長 山田様
◎：〇〇支店 営業部長様

私も、返信を書く時には、『〇〇病院 整形外科 御担当医 〇〇先生』と書くように気をつけます。

今の世の中で、敬称をたくさんつけられて喜ぶ人は、少ないと思います。

そもそも、封筒の表書きにこれだけ敬称を羅列しても、封書は、中の手紙が大事であり、封筒自体は、すぐに捨てられる運命でしょう。

また、「様」と「殿」の使い分けについても悩みます。一般的に使われている敬称は「様」です。目上・目下関係なく使って問題ありません。書き言葉以外に話し言葉としての使用も可能ですので、顧客や取引先との会話の中でも、基本的な敬称として広く使われています。

「殿」の敬称は、目上から目下に対して使う敬称なので注意が必要です。

医療相談窓口のご案内

医療連携室では、現在8名体制(看護師2名、ソーシャルワーカー6名)で患者様のサポートをさせていただいております。

患者様やご家族様より入退院に関わるご相談をお伺いし、解決に向けてお手伝いいたします。

ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。



相談窓口／1階受付

受付時間／9:00～17:00(月曜日～土曜日)

みどり野リハビリテーション病院 医療連携室
(代表) TEL 046-271-1221 FAX 046-271-1220



ホームページのご案内

当院の詳細な内容は、ホームページでご覧いただけます。

検索キーワードは「みどり野リハビリ」

是非ご参照くださいませ。



みどり野リハビリ 🔍 検索

<https://midorino-hp.jp>



編集後記

この度、広報誌のタイトルを「いろどりみどり」に改めることとなりました。これまで長らくご愛読いただいた「みどり野」からの変更ですが、新しいタイトルには多彩な意味が込められています。

「いろどりみどり」とは、多様性と創造性を象徴し、自然との調和も意味しています。今後も皆様と共に成長し、持続可能な未来を築いていく決意を示すものです。

今後も「いろどりみどり」では、さまざまなテーマや情報を通じて、皆様と深く繋がり、共に歩んでいけることを願っています。引き続き、ご支援とご意見をいただきながら、充実した広報誌をお届けします。

変わらぬご愛読を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

広報委員 大川



みどり野リハビリテーション病院 広報誌

いろどりみどり vol. 37

企画発行

みどり野リハビリテーション病院
広報委員会

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間2丁目6-17
TEL 046-271-1221(代表) / FAX 046-271-1220